

令和 5 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
I 類	I 類 A事業所のみを有する特定事業者
	II 類 B事業所を有する特定事業者(III類の事業者を除く)
	III 類 C事業所を有する特定事業者
	IV 類 任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	株式会社平和アルミ製作所			
所在地	東京都荒川区町屋3-20-13			
事業者番号	2220			
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	1,051	kL/年		
大規模小売店舗面積 (単独で1,500kL未満で延床 面積10,000㎡以上の事業所)	27,894	㎡		
産業分類名 (中分類)	69 不動産賃貸業・管理業(テナントビルを含む)			
分類番号 (中分類)	69			
事業活動の 概要	事業内容	設立年月日：平成17年12月 事業内容：商業施設運営・管理(ショッピングモール)		
	区分	企業		
	前年度	資本金	99	百万円
		従業員数	12	人
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)				

（3）県内に設置している事業所

（自動転記）

事業所種別	事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
A、Bテナント等事業所			
A	222000	ヘイワールド!!	1,051
B、C事業所			
合 計			1,051

（4）公表方法

	インターネット利用による公表	ア ド レ ス	
○	事業所での備え置き (複数可。書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	ヘイワールド!!管理事務所
		所在地 1	北本市深井6-87
		閲覧可能時間 1	月～金 9～17時（土日、祝日を除く）
		閲覧場所 2	
		所在地 2	
		閲覧可能時間 2	
	その他		

（5）公表の担当部署

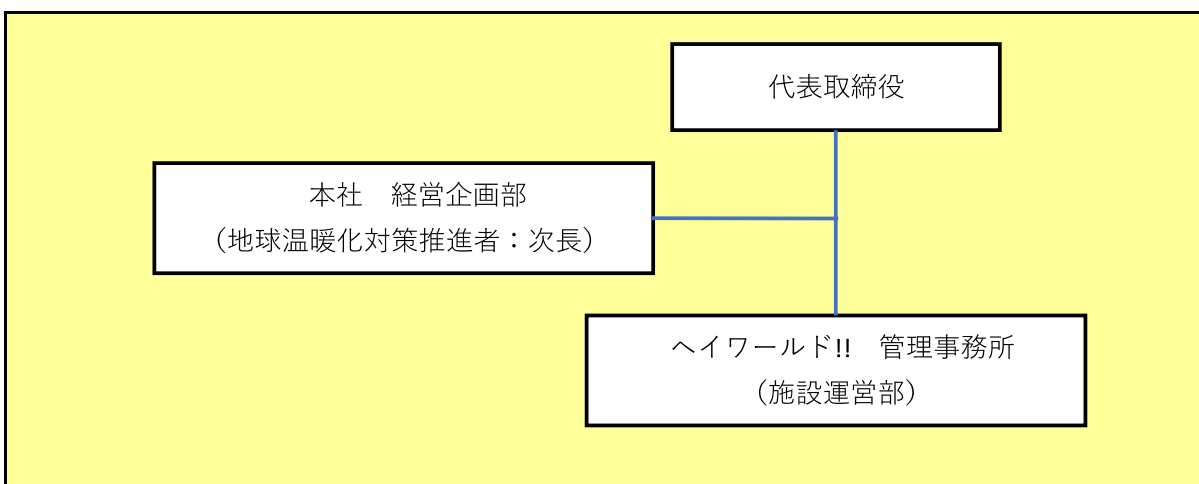
	名 称 (複数可)	連 絡 先	
		電話番号	E-mailアドレス※
1	ヘイワールド管理事務所	048-540-6770	info@heyworld.co.jp
2			
3			

※ 事業者のアドレスとする（個人が特定できるアドレスは記入しないこと）

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

(基本方針)
 1 基本理念
 環境にやさしい商業施設を目指し、企業の社会的責任を果たす。
 2 基本方針
 基本理念に基づき、次の環境マネジメント活動を実施する。
 ①環境目的及び環境目標を定め、環境マネジメントシステムの継続的改善を推進する。
 ②事業活動に関連する法的要求事等を遵守する。
 ③事業活動による環境付加を低減し、豊かな社会づくりに貢献する。

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量（事業所合算）の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂		2,268	2,105		
その他ガス					
温室効果ガスの 合計		2,268	2,105		

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

令和 5 年度

事業者番号	2220	事業所番号	222000
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A … 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	ヘイワールド!!	前年度における事業所数	1
代表事業所所在地	市区町村	北本市	
	字・地番	深井6-87	
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)			
産業分類名(中分類)	56 各種商品小売業		
分類番号(中分類)	56		
事業活動の概要	ヘイワールド!! 商業施設運営・管理(本社及びテナント)		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間	3	年度	～	6	年度		
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量	2,268	t-CO ₂	基準となる原単位		t-CO ₂ /
	令和3年度実績排出量を維持、もしくは更なる削減を目指し取り組む次第です。						
	その他ガス						

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間	7	年度	～	11	年度	
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量		t-CO ₂	基準となる原単位	
	順次対応予定					
	その他ガス					

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	ヘイワールド!!	北本市深井6-87
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
			1,133	1,051	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	基準	計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂	2,268		2,268	2,105		
前年度比 (%)		—		-7.2		
基準となる排出量に対する削減率 (%)			0.0	7.2		
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計			2,268	2,105		

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）CO₂換算 (t-CO₂/指標)

	基準	計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位						
前年度比 (%)		—				
基準となる原単位に対する削減率 (%)						
活動規模の指標単位						

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	
令和3年度 (2021年度)	
令和4年度 (2022年度)	令和4年度は下記の理由により、全体としてCO ₂ 排出量が減少したと考えられる。 ・ヘイワールド一階共用部及びユニクロにおいてオープン当初より17年以上経過していた空調設備の更新が行われたことでエネルギー効率が向上しました。これにより、冷暖房に必要な電力の消費量が削減され、CO ₂ 排出量の削減につながりました。さらに、日中に3階の照明と空調機を停止したことにより、電力の使用量が大幅に削減されました。結果、前年比で7.2%の電力量削減が達成されました。更にCO ₂ 排出量の減少が実現出来るように努力してまいります。
令和5年度 (2023年度)	
令和6年度 (2024年度)	

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	地球温暖化対策計画対策会議開催	R3	R3	
2	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	地球温暖化対策計画対策会議開催	R4	R4	
3	150200	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用 管理	日中館内一部照明の消灯による省エネ対策	R4	R4	
4	130100	空調和設備・ 換気設備	13_空調和の運転 管理	日中館内一部空調の消灯・温度制御による 省エネ対策	R4	R4	
5	110400	一般管理事項	11_エネルギー使用 量の管理	共用部の空調機メンテナンス清掃	R4	R4	
6	130100	空調和設備・ 換気設備	13_空調和の運転 管理	共用部の空調機更新	R4	R4	
7	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	地球温暖化対策計画対策会議開催	R5		
8	150200	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用 管理	日中館内一部照明の消灯による省エネ対策	R5		
9	130100	空調和設備・ 換気設備	13_空調和の運転 管理	日中館内一部空調の消灯・温度制御による 省エネ対策	R5		
10	110400	一般管理事項	11_エネルギー使用 量の管理	共用部の空調機メンテナンス清掃	R5		
11	120200	熱源設備・熱 搬送設備	12_冷凍機の効率管 理	デマンドレスポンス契約による、節電対策	R5		
12	150200	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用 管理	未LED個所のLED化計画	R5		
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

（※希望者のみ記載）

自由記述欄

ハイワールドでは、2021年（R3）4月から2022年（R4）3月と2022年（R4）4月から2023年（R5）3月の期間において、エネルギー起源のCO2排出量を算出するために電気とガス（液化石油ガス/LPG/プロパン）の2種類の燃料を使用しました。

年度ごとの電気とガス使用量は以下の通りです。

【電気】

（令和3年度）2021年4月から2022年3月 使用量：4,018,432kWh
（令和4年度）2022年4月から2023年3月 使用量：3,683,057kWh

【ガス】

（令和3年度）2021年4月から2022年3月 使用量：46,959.3m³
（令和4年度）2022年4月から2023年3月 使用量：47,384.4m³

これらのデータを基に、当施設のエネルギー起源のCO2排出量を計算しています。電気とガスの燃料使用量を正確に把握し、CO2排出量の算出を行うことは、環境に対する取り組みや改善策の策定において重要な要素となります。

ハイワールドでは、CO2削減に向けた取り組みを積極的に行っています。省エネルギーを意識した設備更新や日中の照明および空調機の停止など、具体的な対策を実施しました。これらの取り組みにより、前年比7.2%の電力量削減を達成し、全体的にCO2排出量の減少に貢献したと自己評価しており、努力が実を結んだと確信しています。

来期では、コロナでの緊急事態宣言時に時短営業していた店舗が通常営業に戻りましたので、電力量が上がることを予想されます。しかし引き続きCO2排出量の削減に向けて努力を重ねていきたいと考えています。さらなるCO2排出量の削減を目指しエネルギー効率の高い設備の導入などを検討しています。